

平和な未来をみんなの手で

長かった夏休みも終わり、今日から2学期が始まりました。

皆さんは、この夏どんな出会いがありましたか。どんな挑戦ができましたか。



長崎：平和祈念像

1 学期の終業式でもお話ししましたが、今年は戦争が終わって80年の節目の年でした。そこで、私は、この夏に長崎に行ってきました。

皆さんもよくご存じの通り、80年前の8月9日に、長崎に原子爆弾が落とされました。たった1発の爆弾が、長崎にいた多くの人の命を瞬時に奪いました。命が助かった人も、やけどや放射能によって、次々に苦しみの中に亡くなっていきました。「放射線による健康被害は他人にうつる」と間違った情報が広がり、生き残った人たちは、さらに差別と偏見に苦しめられ続けました。

いくつか施設を回り、多くの人と出会い、そうした話をたくさん学んですることができました。

一つ知っておいてください。広島に落とされた原爆は破壊力が15キロトンと言われています。長崎のは20キロトンです。それに対して、人類がこれまでに開発したもっとも破壊力がある核爆弾の火力は50メガトンです。メガはキロの1000倍です。2025年の最新データでは、確認されている現役の核弾頭数

は、9615発です。

「こんな恐ろしい世界はごめんだ」と世界中が、もっと叫ばなければいけないし、「殺し合い破壊し合うことでしか物事が解決できない世界はごめんだ」と、大人こそもっとしっかりしなくてはいけないと思いました。

そして、私たちにもできることがあります。やらなければいけないことがあります。悪口を言われたら悪口で言い返す、意地悪されたら意地悪をし返す、それでは戦争をしている人たちと同じです。

それぞれにそれぞれの言い分はあるでしょう。しかし、「人が嫌なことは自分はしない」「より多くの人と仲良くつながっていこう」と、対話と協力を通して笑顔の輪を広げていくことが大切です。

今朝も地域の方々が、皆さんの安全のために交通安全の見守りをしてくださったと思います。「ありがとうございます」「2学期もよろしくお願いします」と、ご挨拶できたことと思います。小さいことかもしれないけれど、こうしたことが大切です。

平和な未来を創っていくのは、みんなの使命です。「みんなのために、世界の平和のために」と、立派な人になるために頑張っていってほしいと思います。

では、今日から元気いっぱい、仲良く、楽しい学校生活を送っていきましょう。



爆心地脇を流れる川に飾られた「キッズゲルニカ」
平和への願いを世界にアピールしています。